

標記書籍（2019年11月1日 第一版 第1刷）に誤りがございましたので、以下に訂正しお詫び申し上げます。

頁・行	誤	正
2頁 下から10行目	Phosphorous-32 (³² P)	Phosphorous-32 (³² P)
13頁 図Ⅶ 1-7 図中文字	INF a : j 腎がん	INF a : 腎がん
15頁 表Ⅶ 1-3	下段に修正後の完成表を示す（修正箇所は赤字）	
15頁 脚注 *1-4 1行目	トラスツマブ	トラスツズマブ
17頁 図Ⅶ 1-8 図中文字	INF a : j 腎がん	INF a : 腎がん
23頁 まとめ 4行目	ブレーキとながん抑制遺伝子	ブレーキとなるがん抑制遺伝子
66頁 21行目	✓ニフェジピン (Nifedipine)	✓ニフェジピン (Nifedipine)
98頁 下から5行目	その症状を呈することもある	その症状を呈することもある
126頁 下から2行目	全身に以降することで、	全身に移行することで、
130頁 下から12行目	その50%に主観的な反応 (Objective Response) が	その50%に客観的腫瘍縮小効果 (Objective Response) が
131頁 上から2行目	[¹¹¹ In-DTPA-D-Phe ¹ ,Tyr ³] Octreotide	[¹¹¹ In-DTPA- _D -Phe ¹ ,Tyr ³] Octreotide
135頁 表Ⅶ 9 - 4 右端上欄	吸収線量 (mGy/MBq)	吸収線量 (mGy/MBq)
135頁 表Ⅶ 9 - 4 脚注	Stabin MG, KoojiPP,.....1919-22. より	削除
135頁 表Ⅶ 9 - 5	下段に修正後の完成表を示す	
141頁 下から1行目	intravenous Use Intial U.S. Approval	intravenous Use Initial U.S. Approval
157頁 表Ⅶ 10-4 表タイトル	表Ⅶ 10-4 NCCI-IPC	表Ⅶ 10-4 NCCN-IPI
161頁 表Ⅶ 10-5	他の臓器 0.41 (0.6 ~ 0.62)	他の臓器 0.41 (0.06 ~ 0.62)
172頁 上から16行目	値は確立されていないが、	値は確立されていないが、
173頁 下から7行目	T1 : 触診で臨床的明らかでない	T1 : 触知不能で臨床的に明らかでない
173頁 下から4行目	(例えば、PS 上昇のため)	(例えば、PSA 上昇のため)
173頁 下から3行目	T2 : 触知負の	T2 : 触知可能で
177頁 9 ~ 10行目	強度変調放射線療法 (Intensity Modulated Radiaiton Therapy : IMRT)	強度変調放射線療法 (Intensity Modulated Radiation Therapy : IMRT)
178頁 下から8行目	(Sipuleucel-T) (抗アンドロゲン薬	(Sipuleucel-T)、抗アンドロゲン薬
187頁 下から3行目	連携体制や医学物理士 30 等の	連携体制や医学物理士等の
204頁 索引 I 下から4行目	Intensity Modulated Radiaiton Therapy	Intensity Modulated Radiation Therapy

15頁 表Ⅶ 1 - 3 (修正後完成版, 修正箇所は赤字部分)

	薬剤名	標的分子	抗体	適応となるがん
抗体	トラスツズマブ	HER2	ヒト化	HER2 陽性乳がん、胃がん
	リツキシマブ	CD20	キメラ	CD20 陽性 B 細胞性非ホジキンリンパ腫
	イブリツモマブ	CD20	マウス	リツキサン耐性 CD20 陽性 B 細胞性リンパ腫
	ベバシズマブ	VEGF	ヒト化	大腸がん、非小細胞肺がん、乳がん、悪性神経膠腫、卵巣がん
	パニツムマブ	EGFR	ヒト	大腸がん
小分子	イマチニブ	Bcr-Abl, PDGFR, c-kit		慢性骨髄性白血病、Ph1 陽性急性リンパ性白血病、消化管間質腫瘍
	ゲフィチニブ	EGFR チロシンキナーゼ		非小細胞肺がん
その他	サリドマイド	TNF		多発性骨髄腫

表Ⅶ 9 - 5 [⁹⁰Y-DOTA-_D-Phe¹,Tyr³] Octreotide の吸収線量

組織	吸収線量 (mGy/MBq)	組織	吸収線量 (mGy/MBq)
副腎	*	骨髄	0.03
脳	*	皮膚	*
乳腺	*	小腸	*
胆嚢壁	*	脾臓	7.62
心臓壁	0.22	胃壁	*
腎臓	3.31	精巣	*
肝臓	0.72	胸腺	*
大腸下部壁	*	甲状腺	*
肺	0.31	大腸上部壁	*
筋肉	*	膀胱壁	2.21
骨表面	*	子宮	*
卵巣	*	全身	0.14
脾臓	*		

*他の組織としてまとめて扱い、その吸収線量は 0.08 mGy/MBq と計算される。